

統合医療とミトコンウォークについて

◎五寶秀美（ゴホウ ヒデミ）¹⁾、橋本知子（ハシモト トモコ）¹⁾、田村有希（タムラ ユキ）¹⁾、森田真美（モリタ マミ）¹⁾、庵前美智子（アンマエ ミチコ）¹⁾、伊藤啓二郎（イトウ ケイジロウ）¹⁾、中岡義晴（ナカオカ ヨシハル）¹⁾、森本義晴（モリモト ヨシハル）²⁾

1 医療法人三慧会 IVF なんばクリニック（イリョウホウジンサンケイカイ IVF ナンバクリニック）

2 医療法人三慧会 HORAC グランフロント大阪クリニック（イリョウホウジンサンケイカイ HORAC グランフロントオオサカクリニック）

背景・目的

当院では、補助治療を組み合わせた統合医療システムを構築し、指導項目の一つにミトコンドリアの活性化を目的としたウォーキング法「ミトコンウォーク」がある。その実施状況・効果について検討したので報告する。

対象・方法

2014年1月～2015年2月に胚移植を受けた患者延べ2287名を対象とした。胚移植後の質問用紙にて、ミトコンウォークに関する項目の回答を得た。

結果・考察

ミトコンウォークについての自由記述をカテゴライズしたところ、実施している患者の86.4%が、良い効果を実感できていた。内訳は、血流改善32.5%、総合的な健康の改善26.6%、心身の爽快さ21.0%、胚質改善6.3%であり、心身への良い効果が確認できた。統合医療システムは、より多くの患者にミトコンウォークの導入を促し、更に実施患者のフォローアップにより長期間の継続を可能にしている。その結果、不妊治療の効果を上げることが期待できる。